

1

以下の問に答えよ.

- (1) A を実 n 次正方行列とする. A が直交行列であることの定義を述べよ.
- (2) A が直交行列であるとき, $\det A = \pm 1$ を示せ.
- (3) n 次実直交行列の全体を $O(n)$ とする. $O(n)$ は行列の積に関して群をなすことを示せ.
- (4) $O(n)$ の元 A であって $\det A = 1$ を満たすものの全体を $SO(n)$ とする. $SO(2)$ の任意の元は, $\theta \in \mathbb{R}$ を用いて

$$\begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix}$$

と表せることを示せ.

- (5) $O(3)$ の元であって $SO(3)$ の元でないものの例を一つ挙げよ.

2

(u, v) をパラメータとする曲面

$$\begin{cases} x = -3u + 1 \\ y = v \cos u \\ z = -v \sin u \end{cases} \quad (0 \leq u < 2\pi, v \in \mathbb{R})$$

について, ガウス曲率と平均曲率を求めよ.

3

n を 2 以上の整数とし, 複素関数 $f(z) = \frac{1}{z^n + 1}$ を考える.

- (1) $f(z)$ の孤立特異点と, そこでの留数を全て求めよ.
- (2) $R > 1$ を実数とし, 曲線 C を $C = \{Re^{i\theta} \mid 0 \leq \theta \leq \frac{2\pi}{n}\}$ で定める. このとき $\lim_{R \rightarrow \infty} \int_C f(z) dz = 0$ であることを示せ.
- (3) 定積分 $\int_0^\infty \frac{1}{x^n + 1} dx$ の値を求めよ.

4

次の初期条件および境界条件を満たす熱伝導方程式

$$\frac{\partial u}{\partial t} = \frac{\partial^2 u}{\partial x^2} \quad (0 < x < 1, \quad t > 0) \quad \left\{ \begin{array}{l} u(x, 0) = 0 \quad (0 < x < 1) \\ u(0, t) = b \quad (t > 0) \\ \frac{\partial u}{\partial x}(1, t) = 0 \quad (t > 0) \end{array} \right.$$

について次の問に答えよ。ただし、 b は定数であり、この初期値・境界値問題の解を $u(x, t)$ とする。

(1) $v(x, t)$ を初期値・境界値問題

$$\frac{\partial v}{\partial t} = \frac{\partial^2 v}{\partial x^2} \quad (0 < x < 1, \quad t > 0) \quad \left\{ \begin{array}{l} v(x, 0) = -b \quad (0 < x < 1) \\ v(0, t) = 0 \quad (t > 0) \\ \frac{\partial v}{\partial x}(1, t) = 0 \quad (t > 0) \end{array} \right.$$

の解とすると、 $u(x, t) = b + v(x, t)$ となることを示せ。

(2) $u(x, t)$ を求めよ。

5

(1) $M(n, \mathbb{R})$ を n 次実正方行列全体からなる集合とし、 $M(n, \mathbb{R})$ 上の 2 項関係 \sim を

$$A \sim B \stackrel{\text{定義}}{\iff} \text{ある } n \text{ 次正則行列 } P \text{ が存在して } AP = PB$$

により定義する。このとき、 \sim は $M(n, \mathbb{R})$ 上の同値関係であることを示せ。

(2) 自然数 $n \geq 1$ に対して、関数 $d_n : \mathbb{R} \times \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}$ を

$$d_n(x, y) := |x^n - y^n|, \quad x, y \in \mathbb{R}$$

により定義する。このとき、 (\mathbb{R}, d_n) は距離空間になるかどうかを調べよ。

(3) 距離空間 (X, d) の部分集合 A, B に対して

$$A^\circ \cap B^\circ \subset (A \cap B)^\circ$$

が成り立つことを示せ。ただし、 $A^\circ, B^\circ, (A \cap B)^\circ$ は、それぞれ $A, B, A \cap B$ の内部を表す。